

【海外演習について】

共生システム理工学類の各専攻では、第3セメスター（2年生前期）に専攻専門科目（選択必修の実践科目）として海外演習を実施します。これは、今までに大学で学んだ専門分野の知識や経験をいかして、実際に海外の大学や研究機関、企業や工場、現場でどのようなことが行われているのかを直接見て体験するとともに、国際的な感覚を身につけることを目標にしています。

専攻ごとに計画するプログラムの他にも、学生と教員が適宜計画して実施する個別プログラムも認定できます。個別プログラムは関係部門の承認が必要ですので、海外演習実施計画委員会、教務課などに相談ください。

海外演習の実施時期は、毎年8～9月に想定されることが多いようです。演習の実施期間は、1～2週間程度です。なお、海外演習に参加するためには、事前に開かれる準備講座に参加しなくてはなりません。また、海外演習に必要な経費（渡航費、宿泊費、食費、保険料など、金額は演習先により異なる、1人あたり10万～20万円程度と想定されます）は、参加する学生の個人負担となります。

事前の準備講座は、前期授業期間中に原則として週1回開かれます。準備講座では、海外演習に参加するための具体的な準備を基礎から行うとともに、海外演習に必要な語学力の向上もめざします。それぞれの海外演習には教員も引率者として同行します。事前に準備を入念に行い、海外演習の手引書を活用して、安全管理や健康管理に十分配慮した演習を行うことにしています。

海外演習に参加するためには、最低限の語学力（英語）が必要です。海外演習で実際に海外に行く時までには、TOEIC 試験で500点以上の英語力を身につけておく必要があります。海外演習に参加を希望する学生は、なるべく早い機会にこうした語学試験を受けておいてください。

海外演習は、平成27年度以降も毎年行うことにしています。2年生のときに海外演習に参加できなくても、3、4年生になってから参加することができるように工夫しています。次年度の海外演習については、前年度の1月頃に計画を提示しています。

学生時代に海外に行き、専門分野に関する見聞を広めるとともに国際的な感覚を身につけることは、きっと将来の活躍にも役立ちます。本学類では、やる気のある積極的な学生が海外演習に参加することを期待しています。

※海外演習に参加する場合は、事前に海外演習担当の教員に相談の上、必ず前期の履修登録期間内に履修登録してください。また、履修登録撤回の期間を過ぎてから、履修者の都合で海外演習を取り止めた場合には、原則として、成績評価が不合格となります。十分に注意してください。

【これまでの海外演習履修者数】

H24年	2名
H25年	1名
H26年	3名
H27年	3名
H28年	12名

(計21名)